

令和3年産 元気つくし (6月5日 播種) (6月25日 移植) 栽培 暦

北九州普及指導センター
J A 北 九

月別	5		6		7			8			9			10					
旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬				
水管理																			
生育ステージ及び薬剤使用時期	播種 一箱当たり 150g		移植 株当たり 3〜4本 坪当たり 60株 え		箱剤 補正①+補正② 必須① 補正②※ 必須②			刈取											
管理のポイント	良食味対策に けい酸加里 4.0 kg 又は 基肥 ベスト444 35 kg		補植苗の除去 又は 除草剤施用 移植防止 深植防止		中干し 溝切り 良食味対策に けい酸加里 2.0 kg			穂肥 水稲用追肥 幼穂 3 mm 30 kg または ワンシヨット追肥 エムコート206 15 kg			最も水が必要な時期			アツミンの投入 40 kg 又は 堆肥投入 2 t 土壌改良材の散布 ○土づくり ○収穫後早めの耕起 ○(ヒメトビウンカ対策) ○落水はなるべく遅く					
病害虫	ばか苗病 いもち病 ごま葉枯れ病 シンガレセンチュウ 苗立枯病 白カビ		葉いもち ヒメトビウンカ ヨコバイ類 スクミリンゴカイ (ジャンボタニシ)		葉いもち コブノメイガ ウンカ類			穂首いもち 紋枯病 コブノメイガ ウンカ類			カメムシ類 ウンカ類			《栽培注意点》 ☆ 苗丈が長くなりやすいので、緑化後は早めに被覆資材を除去する。 ☆ 元気つくしはいもち病に弱いので、いもち病の常発地や野菜後等での栽培は避ける。 ☆ 倒れやすい傾向にあるので、過剰施肥にならないよう注意する。 ☆ 後半肥料切れに注意。					
重点防除農薬	育苗管理参照 箱剤 防人箱剤粒剤 フルスロツトル箱剤粒剤		初中期一発除草剤 アピログロウM×1キロ粒剤 ガンガン1キロ粒剤 サラブレッドKAIフロアブル カチボシLジャンボ サラブレッドKAIジャンボ ※移植後落水・田面の均一化			補正① いもち剤 ノンブラス粉剤DL ノンブラスフロアブル コラトップジャンボP エクシード粉剤DL ※多発時以外は開花期の散布を避ける			補正② ウンカ剤 エクシード粉剤DL ノンブラスフロアブル			必須① 粉 液 粒 フラシントレバリダ粉剤DL タブルカットバリダフロアブル トレボンEW ※発生パターンにより補正防除			必須② カメムシ剤 アルバリン粉剤DL アルバリン顆粒水溶剤 スタークル豆つぶ ※出穂後の畦畔除草はしない			《防除注意点》 ☆ 稲の開花期防除については、ミツバチの影響が考えられますので、開花直前から開花後2週間は農薬の散布を避けましょう。 ☆ 散布時期 ・必須①は、出穂前散布 ・必須②は、穂揃い期から10日後を目安に散布 ・補正①・②については発生時や多発が予想される際に散布。 ※農薬散布時のドリフトに注意!!	
※減農薬成分数	③	④	④	②	③	③	②	②	①	①	①	③	①	①	①				